

妊娠初期の女性が
風しんにかかると、
生まれてくる赤ちゃんが

「先天性風しん症候群」になる確率

妊娠1ヵ月で
50%以上[※]

この数字は、免疫のない女性が妊娠初期に風しんウイルスに感染した結果、病気を持った赤ちゃんが生まれる確率です。耳が聞こえにくくなる、目が見えにくくなる、心臓に病気がある、発達がゆっくりしている。これら『先天性風しん症候群』は、妊娠「前」の予防接種で防ぐことができます。未来の赤ちゃんのために、まずは風しんの抗体検査を。

※検査が陽性した年齢別母胎の先天性風しん症候群の発生確率は、妊娠1ヵ月で50%以上、2ヵ月で25%、3ヵ月で13%、4ヵ月で5%と低下する。出典：国立感染症研究所

妊娠を希望する女性、妊婦の配偶者・ご家族は

風しんの予防接種をご検討ください。
予防接種が必要かどうかは抗体価検査でわかります。

ポイント 1 近年の風しんは成人に多く見られ、平成25年には20代から40代の年齢層で男性を中心に風しんが流行しました。

ポイント 2 特に昭和54年4月2日～平成2年3月31日生まれの男女は接種率が低く、昭和54年4月1日以前生まれの男性は子どもの頃に定期接種のチャンスがありませんでした。

ポイント 3 風しんの予防接種は、はしか(麻しん)も一緒に予防できる麻しん風しん混合(MR)ワクチンで受けることをお奨めします。

- 鳥取県では、生まれてくる子どもを「先天性風しん症候群」から守るため、「**風しん抗体価検査の無料実施**」「**風しんワクチン接種費用の助成**」を行っています。詳しくは、裏面をご覧ください。
- 昭和37年4月2日から昭和54年4月1日の間に生まれた男性は、お住まいの市町村から送付されたクーポン券により、**原則無料**で抗体価検査・定期接種を受けられます。詳しくはお住まいの市町村へお問合せください。



風しん抗体価検査の無料実施と ワクチン接種費用の助成をしています!

～令和3年度に県が実施した検査受検者のうち約4割の方が風しんの免疫が不十分～

生まれてくる子どもを先天性風しん症候群から守るために、保健所と受託医療機関で、風しんの抗体価検査（免疫があるかどうかを調べる検査）を無料実施しています。また、市町村では風しんワクチン接種費用を助成しています。



①風しん抗体価検査の無料実施

対象者

- 妊娠を希望される女性
- 妊娠を希望する女性の配偶者（内縁を含む）などの同居者
- 風しん抗体価の低い妊婦の配偶者などの同居者
- 昭和54年4月2日から昭和62年10月1日までの間に生まれた男性

※ 過去に風しん抗体価検査を受けた結果、十分な量の抗体があることが判明した方は有料となります。

※ 昭和37年4月2日から昭和54年4月1日の間に生まれた男性は、③の制度が利用できます



②風しんワクチン接種費用の助成

対象者

- 妊娠を希望する女性で風しん抗体価の低い方
- 妊婦の配偶者（内縁を含む）
- 妊婦の同居者
- 妊娠を希望する女性（風しん抗体価の低い方）の同居者（風しん抗体価の低い方）

※昭和37年4月2日から昭和54年4月1日の間に生まれた男性で、過去の抗体価検査により風しんの第5期の予防接種の対象者であることが判明している方は、③の制度でワクチン接種してください。

※助成対象や助成金額は市町村によって異なります。詳細はお住まいの市町村の予防接種担当課へお問い合わせください。

③昭和37年4月2日から昭和54年4月1日の間に生まれた男性の方へ

お住まいの市町村から送付されたクーポン券により、抗体検査や定期接種が**原則無料**で受けられます。詳しくはお住まいの市町村へお問い合わせください。

各種お問合せ先

【抗体価検査のお申込み先・お問合せ先】

- 鳥取市保健所 ☎ 0857-30-8532
- 倉吉保健所 ☎ 0858-23-3145
- 米子保健所 ☎ 0859-31-9317

【その他事業全般に関するお問合せ先】

- 鳥取県庁福祉保健部感染症対策局
感染症対策課 ☎0857-26-7857

【ワクチン接種費用助成に関するお問合せ先】

- 琴浦町役場すこやか健康課
☎ 0858-52-1705

抗体価検査を受けられる医療機関と検査申込書は、感染症対策課ウェブサイトに掲載しています。

